

1 令和7年4月1日から同年9月30日までの財政の状況

(1) 財政の動向

令和7年度の流山市一般会計歳入歳出予算総額は、855億1,200万円であり、令和6年度の829億1,000万円に比べ、26億200万円、3.1パーセントの増額となっている。

主な増額の要因としては、児童手当支給事業の増加などにより、民生費が前年度比43億8,284万6千円の増額となったことによるものである。

また、6月に行われた流山市議会第2回定例会において、新型コロナウイルス感染症予防接種に関する経費や、令和6年度に実施した定額減税しきれない方に対する調整給付金の支給において、令和6年度の所得額を基に算出した所要額との比較で不足が生じた分を給付する経費を専決処分したほか、前年度からの繰越額を含めると、9月末の予算現額は923億9,633万1千円となっている。

なお、上期における予算現額を前年の9月末現在のものと比較すると、歳入では、市税において、個人市民税や固定資産税等の増加により、前年度に比べ21億4,036万6千円の増額となっている。市債は、前年度に比べ24億5,110万円の減額となっている。

また、歳出では、土木費が前年度に比べ11億6,158万4千円、衛生費が10億5,289万2千円の減額となっている。

一方、人口増加に伴う子育て関連経費や扶助費等の増加により民生費は、前年度に比べ30億6,890万2千円の増額となったことなどにより、前年9月末現在と比べて18億1,120万8千円の増額となっている。

一般会計と特別会計の9月末現在の執行状況は(3)収入及び支出の概況のとおりである。